

# 物価高 95%が実感

## 日銀調査

日銀は12日、6月の「生活意識に関するアンケート調査」結果を発表しました。それによると、1年前と比べ物価が「かなり上がった」「少し上がった」と回答した人の割合は計95.5%と、リーマン・ショック当時の2008年9月調査(94.6%)を上回り、約15年ぶりに過去最高を更新しました。

原材料高や電気代の上昇を

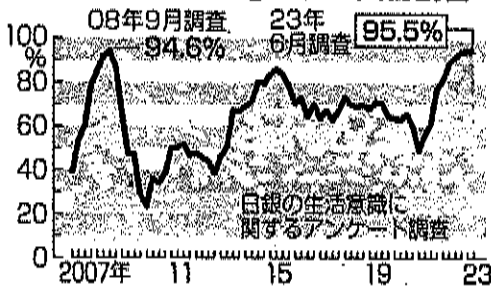
## 15年ぶり過去最高更新

背景に食品など生活必需品の値上げが続く中、物価上昇を実感する人は4回連続で9割を超えました。物価上昇により家計が圧迫され、暮らし向きにも悪影響を及ぼしています。

「かなり上がった」との回答も66.3%と過去最高を更新。1年後の物価については「かなり上がる」「少し上がる」と予想した人の割合が計86.3%となりました。

暮らし向きについて、1年

物価が「上がった」とする回答割合



前と比べて「ゆとりがなくなってきた」との回答は56.8

と4回連続で半数を超えました。その理由を複数回答で尋ねたところ、「物価が上がったから」と答えた割合は89.2%に上りました。「ゆとりが出てきた」と答えた割合から、「ゆとりがなくなってきた」の割合を引いた「暮らし向きD1」はマイナス52.7と、7回連続で悪化しました。

調査は全国の20歳以上の個人を対象に3カ月ごとにを行います。今回は5月11日から6月6日にかけて実施し、2110人から回答を得ました。